

令和3年度の重点課題

○OAB-DE率を20%未満にする。
令和3年度はAB率が30.8%、DE率が34.4%だった。AB-DE=-3.6%となり、DE率が増えた。体力が落ちてきていることがわかる。

○運動習慣に関するアンケート（5年生）で、運動やスポーツをすることが「好き」「やや好き」と答えた児童の割合は、男子83.6%、女子82.6%だった。県平均の男子94.1%、女子87.1%と比べると、男子は-10.5%、女子は-4.5%と低い。

○「反復横跳び」と「ボール投げ」の数値が男女ともに県平均よりも低い。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○運動やスポーツをすることが楽しいと思う児童の向上に向けて
授業の始めにドリル運動（簡単なゲーム）を行うことで主運動への意欲を高められるようにした。

○体づくりに関する取組みについて
鬼ごっこなどの遊びを通して全身を使うトレーニングや、認知作業トレーニングとしてコグトレトレーニングを行った。

○「反復横跳び」に関する取組みについて
府小っ子ダンス（足が速くなるダンス）を行った。

- （全学年）
全身運動として、以下の取組を行った。
- ・学級リレー（1学期の運動会）
 - ・長縄大会（3学期）
 - ・持久走大会（3学期）

令和4年度新体力テストの結果（県平均値（令和3年度）・全国平均値（令和2年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.49	20.98	31.28	43.61	48.24	9.40	160.58	22.03	54.15	第5学年	15.71	20.00	35.75	44.32	39.25	9.68	152.70	12.02	56.07

県平均値かつ全国平均値未満

令和4年度新体力テストの結果（県平均値（令和4年度）・全国平均値（令和3年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.49	20.98	31.28	43.61	48.24	9.40	160.58	22.03	54.15	第5学年	15.71	20.00	35.75	44.32	39.25	9.68	152.70	12.02	56.07

県平均値かつ全国平均値未満

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	75.81	16.13	3.23	4.84	第5学年	61.29	22.58	11.29	4.84

学校独自の意識調査

運動やスポーツをすることは好きですか。

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
1年	82.1	11.9	4.5	1.5	1年	85.1	9	3	3
2年	80	16	2.5	1.2	2年	88	12	0	0
3年	84	16	0	0	3年	80.6	16.4	3	0
4年	73.7	19.7	3.9	2.6	4年	78.6	17.9	3.6	0
5年	75.8	16.1	4.8	3.2	5年	59.7	30.6	9.7	0
6年	65.6	18	8.2	8.2	6年	51.4	28.6	20	0
平均	76.9	16.3	4.0	2.8	平均	73.9	19.1	6.6	0.5

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○通年でコグトレトレーニングに取り組み、体の不器用さの解消を行う。

○主運動に繋がる運動を意識したドリル運動を行う。例えば、ティーボールの学習では、ベースランニング競争、サッカーの学習では、鬼遊びをするなど、主運動に関係のある遊びを取り入れる。運動することを楽しむ児童の育成を目指すとともに、運動量を上げることで体力向上を目指す。

体育の授業以外で行う取組内容

○体育委員会を中心に体力向上イベントを企画、実践することで児童の情意面と体力面を育成する。情意面では「目標に向かって取り組む態度」を育成していく。
・1学期・・・全校朝会でのストレッチタイム、足が速くなるダンスの講習会
・2学期・・・外遊びの奨励、運動環境整備（砂場に砂を入れる、グラウンドの穴を埋める等の全校の学習体制を整えていった）

重点課題

<情意面での課題>
○運動やスポーツをすることが「好き」「やや好き」と回答した児童の割合について（5年生結果より）
男子91.9%、女子83.9%
令和3年度の結果に比べると男子+8.3%、女子-3.2%だった。女子の情意面に課題が見られた。
<体力面での課題>
○男子
「握力」「長座体前屈」が県平均かつ全国平均値より低い。
○女子
「上体起こし」「反復横跳び」「立ち幅跳び」以外において県平均かつ全国平均値より低い。

令和5年度の重点目標値

- 運動やスポーツをすることが「好き」「やや好き」と答える児童の割合を県平均以上にする。具体的には、男子94%以上、女子88%以上にする。（令和4年度県平均が男子93.1%、女子87.7%）
- 「握力」と「長座体前屈」の測定値を県平均値以上にする。
- 認知作業トレーニングを継続して行い、児童の体の不器用さを改善する。（保健室にけがで来室する児童が前年比90%以下）